

令和 8 年度堺市スタートアップ実証推進事業の 支援対象者が決まりました

堺市では、令和 8 年 5 月 8 日の報道提供資料でお知らせしたとおり、堺市スタートアップ実証推進事業において、イノベーション創出や社会課題の解決、市民生活の質の向上等を目的に実証事業の実施を希望する新たなビジネスアイデアを募集しました。

このたび、全国から寄せられた 52 件の応募の中から、支援対象者として 4 者を決定しました。今後、実証事業の実施に向けて支援します。

1 支援対象者（五十音順）

- 株式会社アドダイス（東京都千代田区外神田 6-3-6 MKビル 3F 代表取締役 CEO 伊東 大輔 氏）
- 株式会社 TearExo（兵庫県神戸市灘区六甲台町 1-1 代表取締役 CEO 堀川 諒 氏）
- 株式会社 FELLOW ALL-PRODUCTS（堺市堺区大浜中町 2-6-13 代表取締役 藤本 樹林タウン 氏）
- mimamo（堺市堺区南花田口町 2-2-3 オブレント堺東ビル 3A 代表 寺田 紫衣真 氏）

2 支援内容

①補助金の交付

補助対象経費：施設利用料やプロトタイプ製作費等の実証事業にかかる費用

補 助 率：2 分の 1 以内（補助上限額 100 万円）

補助対象期間：交付決定日から令和 9 年 3 月 31 日（水）まで

- ②市内公共施設、協力企業が有する施設等の実証フィールドの提供
- ③実証事業実施に必要な市内民間事業者とのマッチング
- ④行政課題の提供（堺市の担当部署の紹介等）
- ⑤実証事業の PR 支援 等

3 支援対象者のビジネスアイデア（五十音順）

支援対象者	ビジネスアイデア	実証概要
株式会社アドダイス 	対話型アフメーション（声出し） で、孤独・孤立を緩和する声解析 AI 及びアプリの実証	「声」を通じて自分を整え、また動き出せる。挑戦者を支えるセルフコンディショニング習慣を提案。声の力で「ひとりにしない」堺市の実現をめざし、声解析 AI と対話型アフメーションを組み合わせ、パフォーマンス向上を支えるアプリの有効性を検証する。

株式会社 TearExo 	涙の検査から始める働く女性の乳がんリテラシー変革プログラムの実証	市内企業に勤める女性を対象に、涙液による乳がんバイオマーカー検査とブレスト・アウェアネス（乳房の変化に日常的に気を配る習慣）の啓発を組み合わせたプログラムを提供し、働く女性の乳がんリテラシーを高め、意識・行動の変化を検証する。
株式会社 FELLOW ALL-PRODUCTS 	マルシェ運営 DX による、民間主導で持続可能な賑わい創出の実証	自社開発のマルシェ運営プラットフォーム「Meets Market」を活用し、アナログで煩雑な出店管理や行政手続（営業許可等の確認）をシステム化。これにより、主催者の事務工数削減効果と、適正な利益を確保できる「持続可能なマルシェ運営モデル」の構築に向けた検証を行う。
mimamo 	公的支援の隙間を埋めるオンライン対話モデルを活用した、こどもの孤立予防と支援現場の負担軽減の実証	自社が提供するオンライン対話サービス「きみのじかん」を利用し、こどもの孤独・孤立支援におけるオンライン対話の有用性や孤独・孤立予防に果たす効果、支援現場の負担軽減効果を検証する。

4 堺市スタートアップ実証推進事業

「堺をスタートアップの実証フィールドへ」をキーワードに、市内外のスタートアップから、市内で実証事業に取り組む新たなビジネスアイデアを募集しています。事業者に対して実証フィールドの提供や必要経費の一部を補助することで、堺市におけるイノベーションの創出を促進する事業です。

問い合わせ先	（堺市スタートアップ実証推進事業の申込等に関すること） 担 当 課：さかい新事業創造センター（S-Cube） 電 話：072-240-3775 ファックス：072-240-3662
	（補助金制度に関すること） 担 当 課：産業振興局 産業戦略部 地域産業創造課 電 話：072-228-7455 ファックス：072-228-8816